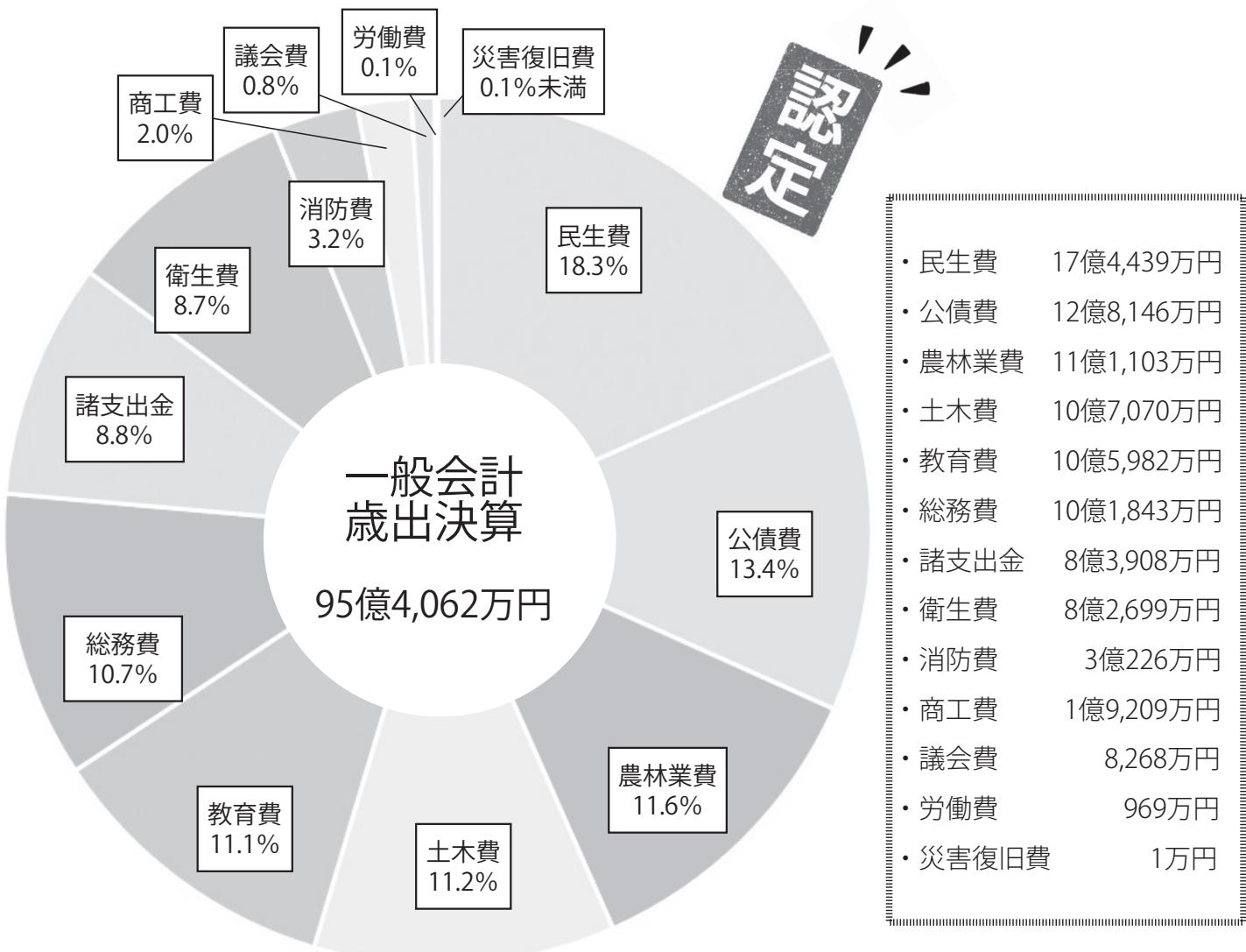


町民のくらしに どう使われたか

令和6年度 決算 審議



令和6年度一般会計の歳入決算額（1年間の収入）は98億5,359万円で、歳入歳出差引残額3億1,296万円のうち1億6,000万円は財政調整基金（貯金）に積み立て、残りの1億5,296万円は令和7年度に繰り越しています。



「決算認定」とは ??

決算は、本町に入ったお金（収入）や使ったお金（支出）の実績で、「決算認定」とは、議会が1年間の決算内容を確認し、確定することです。議会には、法律に適合しているか、使われ方は適正かなどを審査し、過去の財政状況と比べて問題点を指摘し、将来に反映させるなどの役割があります。

税金の使い方を決めるのが予算ですが、決算は使われた結果を検討し、今後の予算編成や行財政運営の改善に役立てる大切な意義があります。

令和6年度決算を審議

清水町のお金の使い方を詳しくチェック こんな質問がありました



公務費

Q DX環境の整備に向けた職員研修をやつていかなければならないと思うが、現状と今後の考え方について伺う。

A 現在、庁内の推進チームを作り、活動を重ねている。まずはチームの中でどのように動いていくかを検討しているところであり、今後職員が学べる機会を設けていきたい。

Q 渋沢栄一翁の関連事業が一区切りついたところだと思うが、今後10年先を見据えてどのような取り組みを考えているか。

A 様々な事業を展開させていただき、「渋沢栄一翁ゆかりの地」であるということは多くの方に認知された。今後もご縁を大切にし、あらゆる方面からまちづくりにご協力をいただけるようにしたい。

生費

Q 令和5年度から令和6年度にかけてシルバー人材センターの受注件数が減っている理由を伺う。

A シルバー人材センターの会員の減少が大きな要因だと考える。近年、60歳を超えて働く人が多いため難しい状況ではあるが、事務局と協議を続けていく。

Q 保育園留学がかなりの成果をあげていると見受けられるが、保育士の負担についてどのように考えているか。

A 保育士へ負担がかかると、良い事業が長く展開していくないと考えている。そのための配慮として、現状4・5歳児のみの受入をしているところである。

林業費

Q 担い手育成事業について、婚活支援だけではなく、後継者本人のコミュニケーション能力や経営者としての資質を高めるような事業にも予算を活用したら良いと思うがいかがか。

A 後継者育成の事業について、普及センターや関係機関とも協議しながら進めていきたいと考えている。

工費

Q 商店街ビジョンマップ検討作成業務について、ポスター以外の成果品はどのようなものがあるか伺う。

A 目に見えるものとしてはポスターのみであるが、作成の過程として3回のワークショップを行い、高校生から70歳までの町民の方に参加いただいた。この協議内容をホームページで公開している。

教育費

Q 小中一貫校に向けた教職員への研修会について、どのような取り組みをしているか伺う。

A 小中一貫教育推進協議会や小中一貫教育推進委員会（清水地区・御影地区）の開催や各種研修会、道教委主催の会議・研修会に参加、さらには指導主事からの指導・助言をいただきながら理解を深めている。